慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学産業研究所
Publication year	1983
Jtitle	Keio Economic Observatory review No.No.4·5 (1983. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00390376-00000004003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

家計労働供給の観測と理論の構成

— 供給法則の探索過程 —

目 次

§ I まえがき	1
§ II 家計の労働供給の雇用機会モデル — A型家計の第1次近似モデル — 〔2・1〕 家計の余暇・所得選好関数	
[2・2] 選好関数から導かれる有業率決定の第1次近似モデル	
§Ⅲ 雇用機会モデルの一般化 — §Ⅱへの補論 —	
§ 1 非核構成員 2 人以上の家計について ······	53
〔1〕 臨界核所得概念の拡張	53
〔2〕 臨界核所得分布と供給確率 — N人家計への拡張 —	57
〔3〕 臨界核所得分布の拡張 ―― 非核賃金率が相異なる場合 ――	63
〔4〕 Allen- Bowley 型選好関数をもつN人家計の臨界核所得の導出	64
〔5〕 供給限界曲線	67
§ 2 家計の労働供給の一般理論とそれによるA型家計の位置づけ ······	71
〔1〕 収入率特性I系をもつ家計の供給行動	73
〔2〕 I系収入率特性をもつ家計群から各種就業型態の家計の発生する確率	75
〔3〕 A型家計の位置づけ	77
§ 3 最適供給時間と第1,第2臨界核所得の関係	··· 78
〔1〕 臨界核所得と最適供給時間の関係(1) — 一般的な考察 —	78
〔2〕 臨界核所得と最適供給時間の関係(2) — Allen - Bowley 型(2次形式)選好関数の場合—— ···································	···· 82
§ IV Allen-Bowley 型選好関数にもとづく A 型家計の雇用機会モデル ── 選好パラメタの第 1 次計測 ── ··································	89
〔4・1〕 選好関数の特定化	

	(4	• 2]	2次形式選好関数のもとでの臨界核所得方程式	89
	(4	• 3)	2次形式選好関数のもとでの供給限界方程式	90
	(4	• 4]	選好関数への確率変数の導入	95
	[4	• 5)	r_2 変位モデルおよび r_4 変位モデルにおける臨界核所得方程式	97
	(4	• 6)	ア₂ 変位モデルと ア₄ 変位モデルの経験的妥当性の検討	99
	(4	• 7)	₹4 変位型選好関数にかんする臨界核所得方程式の計測	113
	(4	• 8)	臨界核所得方程式のパラメタから r_i への逆算 — および結果の吟味 —	174
§	V	選好	パラメタの探索 ― 雇用機会モデルによる第 2 次計測 ――	219
	(5	• 1)	考え方の基本	219
	(5	• 2)	パラメタの推定 ―― 上・下限界から収束させる試み ――	239
§	VI	雇用	自営総合理論への拡張 A型家計	
			選好パラメタの推定値の精度の向上	
			雇用就業,内職就業,雇用内職兼業,非労働力化の四者択一の理論	
	(6	• 2)	選好パラメタの精度を向上させること	279
	(6	• 3)	雇用自営一般(4者択一)理論による選好パラメタの精度の向上作業	·· 288
§	VII	一般	臨界核所得と特殊臨界核所得	
			—— 自営・内職機会を考慮したばあいの臨界核所得について ——	
			Ⅲ,Ⅳ章の基本的分析概念について	
			一般臨界核所得	
	[7	• 3)	一般臨界核所得とA型家計の就業パターン	400
	(7	• 4)	一般臨界核所得の導出	413
§	VIII	家計	の労働供給の―般理論について	
			供給確率と就業の型の決定機構	·· 417
	§ V	II — 1	家計の労働供給の一般図式 ―― 指定労働時間が共通のばあい ――	419
	(1〕 収	又入率特性別就業行動	··· 419
	(2〕 名	S種の就業タイプの家計の発生する確率	·· 431
	(3〕 雇	ē用および自営内職機会への供給確率 ·····	443

§ VII − 2	労働供給の一般図式 指定労働時間が相異なるばあい	448
§ VIII — 3	『家計の労働供給の一般図式 ― 指定労働時間が共通のばあい ― 』への補論	465
§ VIII — 4	まとめ	475
8 TX 分析:	結果の要約とこの後の課題	170